

福祉部

福祉課（☎73-8825）

☆総合福祉計画策定事業として・・・308万円

地域福祉、高齢者福祉及び障害者福祉を計画的かつ効果的に推進するため、地域福祉計画、高齢者福祉計画、障害者計画及び第2期障害福祉計画の改定に取り組みます。



☆住宅手当緊急特別措置事業として・・・227万6千円

離職し住宅を失われた方（失うおそれがある方）のうち、就労能力及び就労意欲のある方を対象に、住宅手当（家賃）を支給し、住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行います。



☆安心生活創造事業として・・・341万6千円

ひとり暮らしの高齢者などが地域で安心して暮らせるための社会を目指し、小城市社会福祉協議会や市内小売業者などと協力しながら見守りや買い物情報などの提供支援を実施します。



☆小城市社会福祉協議会への補助金として・・・6,117万1千円

☆生活保護法に基づく保護者への扶助費として・・・3億647万6千円

☆敬老祝賀事業として・・・839万1千円

高齢者の長寿を祝福するため、9月1日現在で80歳、88歳の節目と100歳以上の高齢者に敬老祝い金を支給します。



☆特定高齢者把握事業として・・・362万4千円

生活機能が低下し介護の要支援・要介護の状態になるおそれのある65歳以上の高齢者を早期に把握するため、特定高齢者の決定に必要な調査を行います。

☆通所型介護予防事業として・・・1,768万3千円

要介護になるおそれの高い高齢者（特定高齢者）の方を対象に、運動器や口腔の機能向上の訓練、認知症の予防に取り組みます。



元気アップ教室

☆障害者相談支援事業として・・・885万円

障害者等が自立した日常生活又は社会生活を送ることができるよう、障害者や介護者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のための支援に取り組みます。



☆介護給付費・訓練等給付費支給事業として・・・4億2,267万9千円

児童を含む身体・知的・精神障害者の介護給付や訓練等給付サービスを希望する方に、在宅や施設での生活支援及び就労等支援により安定した生活や社会参加を支援します。



☆障害者就労支援事業として・・・750万7千円

働く意欲と能力がありながら雇用や就労に結びつかない障害者に対する就労の増進を図るため、就労の場として市内2箇所に資源物回収所を設置しています。



資源物回収所での資源物回収作業

☆佐賀中部広域連合（介護保険）への負担金として・・・4億8,890万1千円

☆がん検診事業として・・・4,869万3千円

市民の皆さんが各地区の保健福祉センターで一度に受診できる総合健診として、各種がん検診を引き続き実施します。また、「女性特有のがん検診（子宮がん・乳がん）」の検診手帳及びクーポン券の配布などにより検診の受診を勧奨します。



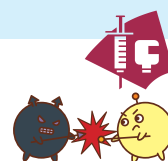
☆特定健診事業として・・・436万円

市民の皆さんの栄養や運動などの生活習慣の改善を支援するため、内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診を実施します。



◆高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成事業として・・・675万円

高齢者が肺炎球菌による肺炎の重症化等を予防するため、予防接種希望者の接種費用を一部助成します。助成対象者は、75歳以上の方からとなります。



☆ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業として・・・6,237万1千円

ヒブ及び肺炎球菌による乳幼児の感染症（細菌性髄膜炎等）を予防するため、予防接種希望者の接種費用を助成します。助成対象年齢は、生後2か月以上から5歳未満となります。



☆子宮頸がんワクチン接種事業として・・・2,542万5千円

子宮頸がんの発症を予防するため、今年度の中学1～高校1年生女子の予防ワクチン接種希望者の接種費用を助成します。1人あたりの助成回数は、3回までとなります。



☆母子保健事業として・・・4,540万7千円

1歳未満児の病気の早期発見や妊婦の早産・流産予防のため、医療機関での健診に係る経済的負担の軽減を支援します。特に妊婦の方へは、妊婦健診を最大14回分まで公費負担で補助します。



☆不妊治療支援事業として・・・200万円

不妊検査・不妊治療を受けられている夫婦の経済的負担を軽くするため、その治療費に対する費用の一部を助成します。また、相談窓口を設けて精神的支援も行います。



☆食育推進事業として・・・53万2千円

「食」は健康づくりの基本であり、私たちが生きていくためには欠かせないものです。市民の皆さんが生涯にわたって健全な食生活を送ることができるように、「小城の食育まつり」、食育体験教室等を開催します。



食育キャラクター「あーも」くん

☆自殺対策事業として・・・120万円

自殺願望者等を1人でも多く減らすために、ゲートキーパー養成の研修会や自殺予防講演会を開催します。



☆市民病院への負担金や出資金として・・・1億6,025万5千円